

平成 23 年度鎌倉市民事業評価結果に対する市の取組方針一覧

番号	中事業名 (所管課)	評価結果	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	財政効果額 (対前年度 当初予算)
	個別事業名				
A-1	市民相談事業 (市民相談課)	維持・継続	維持・継続	本事業に対する市民ニーズは増加していくことが想定される。引き続き、職場研修実施などにより、法律知識、市民ニーズに関わる内容の知識習得に努め、職員のスキルアップを図る。	137
	専門家による法律・税務・ 登記の相談	現状維持	現状維持	限られた行政資源を活用し対応していく。予算については、曆に起因する実施日数増	134
	市民相談事業	現状維持	現状維持	引き続き、職員の知識習得・調整能力の向上等、スキルアップを図ると同時に、業務改善を行っていく。予算については、曆に起因する嘱託員出勤日数の増	3
	法律援助事業補助金	現状維持	現状維持	当該団体の行う事業の公的性格及び継続性及び市民事業評価の結果を踏まえ、引き続きの補助を行う。	0
A-2	青少年会館管理運営事業 (青少年課)	維持・継続	維持・継続	青少年の健全育成という目的を達成するために運営を続ける。各種講座や機能などについては、青少年や地域の意見を取り入れ、「子ども・若者育成プラン」の推進拠点として、より有効な活用を図る。	464
	各種講座開催事業	再構築	再構築	行政側の一方通行ではなく、参加者の交流につながるような講座の開催、青少年や地域の力を活かした講座の企画や実施など、青少年会館が青少年と地域とを繋げる場になるように有効活用していく。	△ 141
	青少年会館管理事業	現状維持	現状維持	今後も施設の適正な維持管理に努めていく。平成 24 年度予算については、ボイラー設備不使用に伴う撤去作業の経費、防音設備の整備にかかる経費を増額している。	605
A-3	小学校運営事業・中学校運営事業 (教育総務課)	維持・継続	充実・拡大	教育関連予算の確保は、最優先事項であることから、後期実施計画に「学校教育環境の充実(教材・教具の整備)」を位置付け、教材・教具の計画的な更新を図ることとする。	8,374
	小学校運営事業	現状維持	充実	平成 24 年度以降は、生徒用机・椅子の更新、教育用テレビの更新、FF 式灯油ファンヒーターへの更新等を図っていく。	8,796
	中学校運営事業	現状維持	充実	中事業の欄に記載した理由のとおり。なお、予算額については、高額備品等の計画更新を実施する一方で経常的経費が減少したことによる相殺減	△ 422
B-1	社会福祉協議会支援事業 (福祉政策課)	統合・再構築	維持・継続	市からの「人件費補助」は、現場の職員の人件費を中心に行っているものであり、現状維持とする取組方針が、市民評価人の本来の意(現場スタッフへの手当の充実)に反していないものと考える。	△2,114
	社会福祉協議会支援事業	再構築	現状維持	中事業の欄に記載した理由のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	△2,114
B-2	公衆トイレ清掃事業 (環境保全課)	統合・再構築	統合・再構築	トイレの設備機器・メンテナンス技術を提供する業者に企業広告の掲出を認めることで機器の延命を図るとともに、清潔で快適なトイレを実現し、最終的に改修経費の軽減に繋がる方法を検討している。	2,101
	公衆トイレ清掃事業	再構築	再構築	中事業の欄に記載した理由のとおり。大船駅西口公衆トイレ及び大船駅西口交通広場公衆トイレの清掃に係る経費(大船駅周辺整備課所管分)を統合したことによる増	2,101
B-3	消防団運営事業 (消防総務課)	維持・継続	充実・拡大	団員確保や資機材の整備について、さらに充実・拡大を図る。また、3 月 11 日の東日本大震災の経験をいかして消防団の一層の充実強化を進める。	6,152
	消防団運営事業	現状維持	充実	中事業の欄に記載した理由のとおり。予算については、資機材の整備による増	6,152
	消防団員福利厚生事業	現状維持	現状維持	昼夜を問わず、さまざまな活動を余儀なくされている消防団の家族に対し、今後も家族慰安事業の実施は必要である。	0
C-1	水洗化普及促進事業 (下水道課)	統合・再構築	統合・再構築	以前から排水施設確認申請予備審査委託業務の見直しを検討しており、統合・再構築を行う。	△ 15,273
	水洗化普及促進事業	再構築	再構築	県上下水道システム情報や排水設備確認申請情報などで各種業務の効率化を進めながら、更なる公共下水道利用への普及促進を図る。予算については、業務用車両 2 台の車検に伴う増	59
	水洗化改造支援事業	現状維持	現状維持	市民ニーズに対応して業務を遂行する。なお、平成 24 年度は、前年度の実績等を考慮して対象家屋数を見直し、予算の減額を図った。	△ 15,332
C-2	維持管理費(七里ヶ浜・山崎) (浄化センター)	維持・継続	維持・継続	流入してくる汚水を適正処理するための施設維持管理業務は最重要課題である。処理機能の確保や機器類の突発故障の防止を講ずるため、今後も継続して維持管理事業を進めていく。	△ 47,070
	維持管理費(七里ヶ浜)	現状維持	現状維持	中事業の欄に記載した理由のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	△ 22,018
	維持管理費(山崎)	現状維持	現状維持	中事業の欄に記載した理由のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	△ 25,052
C-3	海水浴場運営事業 (観光課)	統合・再構築	統合・再構築	一部の海水浴場では、海の家騒音やゴミの処理に改善すべき問題があり、海水浴場組合に海水浴場の開設を委ねた場合、改善が進まないおそれがあるため、鎌倉市が開設者となることを維持・継続する。	△ 3,230
	海水浴場整備事業	再構築	再構築	平成 24 年度から材木座海岸及び由比ガ浜海岸の砂防柵の撤去及び設置業務については、神奈川県が実施することで了解が得られた。	△ 1,486
	海水浴場監視業務事業	再構築	再構築	従来設置していた由比ガ浜臨時警備派出所の機能を滑川交番で補完することとし、監視所のプレハブ棟数 5 棟を 3 棟に減らした。また、ライフガードの配置時期及び人数を精査し、経費の軽減を図った。	△ 1,744
模擬	文化行政推進事業 (文化推進課)	統合・縮小	継続	社会経済状況、市民の文化に対する意識等を勘案し、各事業の趣旨、市の関わりの度合について再確認しながら、合理化を心掛けた事業運営を行っている。今後も協働する市民団体等との緊密な調整や事業に対するアンケート調査等を参考にしながら、効率的かつ適切な実施方法等を工夫したい。	△ 1,834
	文化推進プラン 21 改定	改善維持	現状維持	平成 23 年度から 2 年間で改訂することを予定しているが、改訂の手法として、外部の専門家の助言や市の E モニター制度を活用することにより経費や事務量をかけない方法で改訂作業を進めている。	0
	ようこそ先達事業	拡大	拡大	市内小中学校の総合学習の時間数が削減されている状況の中、学校の意向を再確認しつつ事業の拡大について検討していく。	0
	鎌倉市民文化祭事業	改善維持	改善維持	鎌倉市文化協会役員、市民等が企画運営委員となり、市と共催で実施している。今後も緊密な調整を図り、期間を限定して集中的に実施するなど、効果的、効率的に事業を行っていく。	△ 737
	高田博厚展開催事業	平成 24 年度 新規(周年)事業		本市ゆかりの彫刻家高田博厚氏の没後 25 年にあたり、寄贈を受けている作品を展示することで、市民等に高田博厚氏の偉業を広く紹介する。	798
	Jazz in 鎌倉事業	廃止 (主体変更)	改善維持	Jazz in 鎌倉実行委員会に自立を求めており、平成 24 年度からは、市の経費負担を見直し、実行委員会へ施設使用料の一部の負担を求めることについて調整がついている。	△ 820
	所蔵文化作品保管業務	縮小	統合	組織の見直しと併せて、生涯学習課所管予算と文化推進課の予算を統合した。(社会教育運営事業へ移行)	△1,040
	鎌倉市文化協会等補助金	縮小	縮小	約 17,000 人の市民が参加する鎌倉市文化協会及び実朝忌非句大会への支援は市民の文化活動の育成に資するものであるが、補助金額を見直し 5% の減額を行うこととした。	△ 35
合計					△52,293